

南信州民俗芸能誌【下巻】

下巻かけ踊り保存会	2
東野大獅子保存会	2
七久里神社御柱祭木遣り保存会	3
天龍峡龍神の舞保存会	3
中平獅子舞保存会	4
茶屋町太鼓鼎	4
大洲七福神社奏楽保存会	5
萩山郷土芸能保存会	5
大島山瑠璃寺獅子舞保存会	6
立石祇園祭典	6
加々須獅子舞保存会	6
深見諏訪・津島神社祇園祭保存会	7
下條歌舞伎保存会	7
入登山神社浦安の舞保存会	8
日吉のお鉢祭り保存会	8
和合念佛踊保存会	9
お練りの会	9
向方のお潔めまつり	9
北方獅子舞	10
子安神社獅子舞保存会	10
部奈神楽保存会	10
大鹿神楽獅子	11
安布知神社獅子	11
絵島節	11
満島神社神幸祭	11
向方のかけ踊り	12
上溝囃屋台保存会	12
旭囃子保存会	12
上村遠山霜月祭保存会	13
遠山霜月祭保存会	13

「刊行にあたつて」
私たち伊那谷民俗芸能団体連絡協議会
は、昭和62年（1987年）から活動を開始
し、平成29年（2017年）現在で60団体が
加盟している南信州14市町村の民俗芸能
団体の連絡協議会です。
多くの民俗芸能が継承されている南信州
地域でも、後継者の不足により保存・継承が
困難になりつつある団体が見られるようにな
ってきてています。
そこで、昨年刊行した『南信州民俗芸能誌
[上巻]』に続き、このたび『下巻』を刊行する
はこびとなりました。これを機に多くの皆様
に当地域の民俗芸能への関心をさらに持つて
いただき、保存・継承活動に一緒に取組んで
いただこうことができれば幸いです。
何卒、ご活用いただきますようよろしく
お願い致します。

伊那谷民俗芸能団体連絡協議会

会長 片桐 登

南信州民俗芸能誌【下巻】

編集：伊那谷民俗芸能団体連絡協議会
飯田市追手町2丁目678番地
南信州広域連合内
電話0265-5317100

しもぐりかけおどりほぞんかい 下栗かけ踊り保存会 (飯田市)



連絡先

〒399-11403
飯田市上村754-12番地
上村公民館

下栗かけ踊り保存会事務局

TEL 0260-3612211

定期公演日 8月15日 13時～16時頃まで

定期公演の場所 下栗拾五社大明神

練習時期 7月頃から2～3回程度

練習内容 舞、笛、太鼓、唄の練習。禰宜様、自治会の打ち合わせなど

練習場所 下栗総合交流会館(飯田市上村1152)

【芸能の種類・指定】 雨乞いの踊り 〈国指定重要無形民俗文化財〉

【芸能の由来】

急斜面を切り開き常畑や焼畑での農業をしていた下栗地区にとって日照りは重大な被害をもたらす大天災であり、雨乞いを行い願をかけたものとされています。

【見どころ】

拾伍社大明神社殿にて「式例の祭り」が行われます。禰宜5人が神前に向かって座し、宮元が「祝詞」「大打の神言」を唱えます。氏子は一段低い床にござを敷いて座し、太鼓にあわせて「一切成就祓」「三種大祓」「六根清淨大祓」「般若心経」「清めの神樂」「七五三引神樂」を唱和します。これは、「霜月祭り」と共通します。「式例の祭り」を終えると、支度を整えて「かけ踊り」を行います。オンベ持ちの宮元、旗持の副禰宜2人、太鼓打ち2人、棒振り2人、鉦1人、小女郎4人、笛吹き若干、唄若干の配役で社殿の舞床、境内、一段下の広場と続いて舞い近くの子安社の出宮にオンベと旗を納めて行事は終了します。その後、直会を行い16時頃には終了します。

【保存会の雰囲気や練習の内容】 働き盛りの若ものの都合に合わせ、土日で練習日を設定し参加しやすく工夫しています。保存会会員は下栗地区住民全員とされており現在は自治会総会で選出された6名の役員が伝承のための活動を行っています。

なくなりじんじゃおんばしらきやりほぞんかい 七久里神社御柱祭木遣り保存会 (飯田市)



連絡先

〒399-5102444
飯田市山本366-1-3

TEL 0265-125-12441

代表者

金澤元司(かなざわもとし)

定期公演日 七久里神社春季例祭(4月15日)
定期公演の場所 七久里神社
練習時期 公演前に3回程度練習
練習内容 木遣り唄の練習
練習場所 七久里神社社務所(飯田市山本中平)

【芸能の種類】 木遣り唄

【芸能の由来】

申寅年の御柱祭に有志により木遣り唄の音頭をとつてまいりました。昭和55年に里曳き唄を文書に残しました。木遣り唄の文化継承のため平成15年に保存会を結成しました。

【見どころ】 勇ましい消防団のラッパの合図とともに動き出す巨大な御柱の里曳。勇敢な木遣り唄をご堪能ください。

【保存会の雰囲気や練習の内容】 子供達の入会をお待ちしています。

てんりゅうきょうりゅうじんのまいほぞんかい 天龍峡龍神の舞保存会 (飯田市)



連絡先

〒399-12431
飯田市川路4727

TEL 0265-127-12025

代表者

牧内文弘(まさうちふみひろ)

定期公演日 天龍峡花祭り(4月第3日曜日)
定期公演の場所 天龍峡お祭り広場及び地区内全域
練習時期 毎週水曜日、土曜日19時から
練習内容 龍神の舞、笛・太鼓・銅鑼の練習
練習場所 龍峠会館(飯田市川路72)

【芸能の種類】 龍神(舞)

【芸能の由来】

郷土史家の牧内武司氏の発案により名勝天龍峡の龍角峰付近の深淵に棲む龍の化身として、地域の有志により創始されました。その後天龍峡観光協会に引き継がれ、川路7区内と龍江地区の一部を巡回します。

【見どころ】 4月に行われる「飯田春の観光祭り」、天龍峡花祭りのオープニングセレモニー。大瀧、子龍が連れ立って祭りの成功と地域の安全・繁栄を祈願します。その後、川路7区内と龍江地区の一部を巡回します。大龍は、如意宝珠を操る珠持ちと10人の舞い手、法螺貝、太鼓、篠笛、銅鑼等の鳴り物と爆竹、煙幕で構成されており、長崎の蛇踊りからヒントを得ながら、オリジナルを取り入れた3つの舞を繰り広げます。昇龍の意気に燃えた若衆により、万能の力を宿すといわれる如意宝珠を追いかけて、時には天空に激しく身をくねらせ、時には身を伏せて虎視眈々と狙いを定める演舞は、勇壮にして躍动感に溢れ、あたかも天竜川の激浪に鍛えられたごとく迫力に満ちています。

【保存会の雰囲気や練習の内容】 保存会は川路7区の住民を中心に構成されていますが、他地区へも呼びかけて参加希望者を積極的に受け入れています。平成28年の飯田お練りまつり参加を機会に、他地区からの参加者が増加し、活性化につながっています。最近では、各種イベントへの出演依頼も増え、認知度が高まっていることを実感しています。また、子龍や機材等を新調しやすらに参加しやすい環境を整え、今後も活躍できる芸能団体を目指しています。

ひがしおおじしほぞんかい 東野大獅子保存会 (飯田市)



代表者 東野大獅子保存会

定期公演日 申寅年3月末

定期公演の場所 飯田市街地、東野地区

【芸能の種類】 獅子舞

【芸能の由来】

明治になつて飯田お練り祭りの出し物に加わった東野は、明治35(1902)・41年(1908)と巨大な張り子の獅子頭を作つて出演したところ大評判となりました。そこで、大正3年(1914)には高森町牛牧に獅子舞を習い、王(宇天王)の面をこしらえ、さらに大正9年(1920)に木製の大獅子の頭をこしらえて、今日みる東野の大獅子が完成しました。

【見どころ】 約30キロある木彫りの獅子頭、長さ25mの屋台獅子、京都西陣の衣装、笛、太鼓のお囃子。きらびやかに華やかに、力と美、動と静が一体となつた大獅子の舞をご堪能ください。

〈舞の構成〉

大門口起こしの舞、道中起こしの舞、まだかの舞、寝かしの舞



連絡先

〒395-10801
飯田市鼎中平2443

TEL 0265-2317090

定期公演日 矢高諏訪神社春季祭典(4月第2土曜日、日曜日)

練習場所 矢高諏訪神社、中平地区

練習内容 獅子舞、笛・太鼓、狐、おかめの舞の練習

練習場所 中平公民館(飯田市鼎中平2289-12)

代表者 真野広司(まのひろし)

なかだいらししまいほぞんかい 中平獅子舞保存会 (飯田市)

連絡先

〒395-0802
飯田市鼎下茶屋2-1-16
TEL 0265-2210917

定期公演日 成人式(1月)、矢高諏訪神社春季祭典(4月第2土・日)、区内演奏(7月~9月)、納涼祭夏祭り、文化祭(11月)

練習場所 鼎文化センター、飯田市内

練習内容 基礎練習、曲の練習

練習場所 飯田市上郷黒田住宅(飯田市上郷黒田3851-1)

なかだいらししまいほぞんかい 中平獅子舞保存会 (飯田市)

芸能の種類

獅子舞

芸能の由来

見どころ 道中舞、本舞一番、二番で構成され、道中舞は獅子の往来を清めるために舞われ、狐がその先導を務めます。本舞は華麗で優美な一番と、激しく雄壮な二番があり、女の子が演じるおかげが鎮めと福を呼び込みます。また、悲しげな笛の音色から獅子舞が始まる、他にはない特徴があります。

保存会の雰囲気や練習の内容 昭和初期、世界恐慌の影響を受け日本の経済は危機的状況でした。そんな中、昭和8年(1933)に皇太子の誕生日を機に、日本全体が復興・再生の願いを込め新しい時代の到来に期待を抱いていました。中平地区においてもそんな期待と希望を獅子舞に託して舞われるようになりました。

おおしまななすきじんじゃそがくほぞんかい 大洲七帽神社奏楽保存会 (松川町)



連絡先

〒399-13303
松川町元大島1310-13

TEL 0265-3613683

代表者

藤木昭博(ふじきあきひろ)

定期公演日

春季例祭(4月第1土曜日・日曜日)

定期公演の場所

大洲七帽神社境内

練習時期

毎月1回(中旬)、春・秋例祭前3日間、春の例祭前1ヶ月間

練習内容

獅子舞、奏楽、おかげ踊り、花踊りの練習

練習場所

大洲七帽神社舞台(松川町元大島1992-1)

芸能の種類

獅子舞、お囃子

芸能の由来

五穀豊穣祈願の祭事として、江戸時代中期頃から始まり現在に至ります。

見どころ 獅子舞演舞・ひやーひやー、数え唄、呻吟、道中囃子

春季例祭では、獅子舞の奉納とともに小学生のおかめ踊りが華を添えて踊ります。

囃子屋台は五曲のお囃子に合わせ、地区内小学生男子による花踊りが奉納されます。獅子舞は呻吟の舞、お囃子は花鳥が見どころです。

保存会の雰囲気や練習の内容 40歳代から90歳代までの総勢42名の育成部(獅子部、囃子部)が中心となり、継承に取り組んでいます。近年では女性部員や小中学生が参加し上新井地域の保存会として活動しています。練習は月1度の定期練習が中心ですが、春の例祭前にはおかげ踊り、花踊りの集中練習を実施し伝統を継承しています。世代を超えた仲間が自由に意見交換を行い、垣根のない時間を共有できるところが魅力的です。熱意ある部員を募集していますのでお気軽にお問合せください。

おおしまななすきじんじゃそがくほぞんかい 萩山郷土芸能保存会 (高森町)



連絡先

〒399-13103
高森町下市田957

TEL 0265-3515045

代表者

杉田洋二(すぎた よういち)

定期公演日

春季例祭(3月第4週土曜日・日曜日)

定期公演の場所

萩山神社

練習時期

毎月第2金曜日

練習内容

獅子曳き(子供3人)、獅子舞、お囃子の練習

練習場所

下市田区民会館(高森町下市田997-1)

芸能の種類

獅子舞、獅子曳き(子供)、お囃子

芸能の由来

安養寺はもともと現在の萩山神社の敷地にありました。天正10年(1582)に伊那谷に侵入した織田信忠の兵火によって焼失しました。火災から免れた荒神堂はその後も鎮守として守られ、本尊のご開帳の際に獅子曳きが始まりとされています。

見どころ 見どころは、地元小学生が扮する3人の獅子曳き(松王、梅王、桜丸)です。獅子曳きとは歌舞伎「菅原伝承手習鑑」に登場する忠義な三つ子が、主君の仇討を果たすため寝ている獅子を起こし見事に敵を果たす物語です。

はぎやまきょうどうげいのうほぞんかい 萩山郷土芸能保存会 (高森町)



連絡先

〒399-13103
高森町下市田957

TEL 0265-3515045

代表者

杉田洋二(すぎた よういち)

定期公演日

春季例祭(3月第4週土曜日・日曜日)

定期公演の場所

萩山神社

練習時期

毎月第2金曜日

練習内容

獅子曳き(子供3人)、獅子舞、お囃子の練習

練習場所

下市田区民会館(高森町下市田997-1)

芸能の種類

獅子舞、獅子曳き(子供)、お囃子

芸能の由来

安養寺はもともと現在の萩山神社の敷地にありました。天正10年(1582)に伊那谷に侵入した織田信忠の兵火によって焼失しました。火災から免れた荒神堂はその後も鎮守として守られ、本尊のご開帳の際に獅子曳きが始まりとされています。

保存会の雰囲気や練習の内容 和やかな雰囲気で練習及び本祭を行っています。地区の方と一緒に活動していただける方のご連絡お待ちしております。



連絡先

〒395-0802
飯田市鼎下茶屋2-1-16

TEL 0265-2210917

定期公演日 成人式(1月)、矢高諏訪神社春季祭典(4月第2土・日)、区内演奏(7月~9月)、納涼祭夏祭り、文化祭(11月)

練習場所 鼎文化センター、飯田市内

練習内容 基礎練習、曲の練習

練習場所 飯田市上郷黒田住宅(飯田市上郷黒田3851-1)

ちゃやまちだいこかなえ 茶屋町太鼓鼎 (飯田市)

芸能の種類

和太鼓

芸能の由来

見どころ 一番太鼓・「鼎」とは三本の脚がついた金属製の器のことを言います。太鼓を「鼎」に見立て、三本の脚は、父、母、子の太鼓が息を合わせて太鼓を支えている状況を表現しています。この曲には、茶屋町太鼓鼎への熱い思いが込められています。演奏者3人の激しく息の合ったリズムを感じてください。

保存会の雰囲気や練習の内容 昭和30年以前には、下茶屋地区にも獅子舞が盛んでしたが昭和30年代に解散となりました。そんな中、下茶屋地区を活性化させようと区民の有志が集まり、平成14年5月に地域の和太鼓の会として結成しました。茶屋町太鼓鼎では、「地域活動」、「ボランティア活動」「青少年健全育成活動」を事業の3本柱に掲げ、長く愛される太鼓団体を目指し取り組んでいます。

見どころ 一番太鼓・「鼎」とは三本の脚がついた金属製の器のことを言います。太鼓を「鼎」に見立て、三本の脚は、父、母、子の太鼓が息を合わせて太鼓を支えている状況を表現しています。この曲には、茶屋町太鼓鼎への熱い思いが込められています。演奏者3人の激しく息の合ったリズムを感じてください。

保存会の雰囲気や練習の内容 主な活動は、矢高諏訪神社春季祭典奉納、鼎地図の夏祭り納涼祭、老人施設などの公演があります。太鼓を通じて子供から大人まで幅広く交流の輪が広がり、心の拠り所ができます。また、様々なイベントに参加することでよい思い出がつくれます。引っ越し事案な子供達が、太鼓の準備から後片付けまで進んで行うようになり、あいさつもしっかりできるようになりました。お子さんと一緒に私たちと太鼓に挑戦してみませんか。

連絡先 TEL 0260-22-2678 阿南町東條238-12

定期公演日 7月第4土曜日

定期公演の場所 深見諏訪・津島神社、深見池

練習時期 6月から7月の毎週土曜日、日曜日19時から

練習内容 箫、三味線、大太鼓による道中囃子2曲、祇園囃子3曲の練習。中学生は笛の扱い方や曲目の奏で方を中心に練習します。(中学生8日間、初心者は11日間、大人5日間)

練習場所 東條会館(阿南町東条557-12)

芸能の種類・指定 祇園祭り〈長野県選択無形民俗文化財〉

【芸能の由来】

流行り病を鎮めるため、尾張津島神社から分霊を迎えたのが始まりとされています。そのため、深見祇園祭りの筏は尾張津島神社のだんじり船、お山飾りは京都八坂神社のお山と関係があると考えられています。また、深見の池に幣束(へいそく)を投げ入れる儀式は、神送り(厄神を追い払う行事)が起源とされています。

【見どころ】 尾張津島社から御神体を神輿に移し、柳、天狗面、獅子頭、神輿、高張提灯、旗、お囃子が行列を組み、道中囃子を奏でながら深見池へ下っていきます。湖に到着すると、筏の中央に神輿が安置され、岸から離れると花火が打ち上げられ、しばらくすると筏に仕掛けられた花火に点火されます。湖上の筏の上では祇園囃子が奏でられ、神事が始まります。最後に神主が筏に飾られた大幣束を湖に流して、疫病退散を祈願します。筏が湖面を一周し岸に戻る頃には、花火が盛大に打ち上げられ、大音響とともに湖面を彩る迫力ある花火は実に見事です。花火の終盤に差し掛かる頃、道中囃子を奏てる神輿一行が諏訪神社に到着し、御神体を津島社に移して、神事が行われます。最後に、火の粉を勢よく吹き出す大三国の中を壮年団のきおいが行われます。

【保存会の雰囲気や練習の内容】 お囃子は笛、三味線、小太鼓、大太鼓、奏楽は龍笛(りゅうてき)、篠篥(ひぢりき)、笙(しょう)、大太鼓で構成されています。奏者は30代から50代が主体で、地元の中学生にもお囃子の笛を担当していただいています。近年は少子高齢化が進み、氏子の人数も減少傾向にあり、壮年会、奏楽、お囃子の人材不足が深刻な課題となっています。奏者しか味わえない筏からの花火と一緒に楽しみませんか。地区内外、男女問わず多くの方の参加をお待ちしています。

にゅうとざんじんじゅうらやすのまいほぞんかい
入登山神社浦安の舞保存会
(下條村)

定期公演日 ◆ 春季例祭(4月第3日曜日)
秋季例祭(10月第3日曜日)

定期公演の場所 ◆ 入登山神社拝殿

練習時期 ◆ 例祭の1ヶ月前から

練習内容 ◆ 舞と謡、雅楽との音合わせ

練習場所 ◆ 手塚原ふれあいセンター(下條村陽臘手塚原)

連絡先 〒399-12102
下條村陽臘4502
TEL 0260-127-12216
代表者 田本文正人(たもと ふせと)

[芸能の種類] 浦安の舞、天狗の舞

[芸能の由来] 浦安の舞は昭和15年(1930)に作曲作舞され全国の神社で行われるようになった神事舞です。現在では、入登山神社氏子小学生を中心として、学校や教育委員会と協力しながら地域の祭事を継承しています。

[見どころ] 美しい衣装を身に着けた小学生の舞をご鑑賞ください。

[保存会の雰囲気や練習の内容] 小学生の皆さん、一緒に浦安の舞を舞いませんか。ご興味のある方のご連絡をお待ちしています。

ひよしのおくわまつりほぞんかい
日吉のお鍬祭り保存会
(阿南町)

定期公演日 ◆ 4月29日(現在は休止中)
定期公演の場所 ◆ 伊勢社
代表者 阿南町役場和合出張所

連絡先 TEL 3991-1611
阿南町和合897-15
TEL 0260-124123333

【芸能の由来】 御鍬祭りは伊勢外宮の豊受大神が布教した愛知県から三重県の農村で行われている信仰です。この地域では、寛保2年(1742)に到来した記録が残っています。

【見どころ】 念仏踊りやお練り、湯立神楽の舞などが複合し、他の地域にはない独特な春の豊作を祈る祭りです。



むかがたのおきよめまつり (天龍村)

定期公演日 ♦ 1月3日
定期公演の場所 ♦ 天照大神社 舞堂

代表者

天龍村教育委員会
連絡先 ☎ 399-11201
天龍村平岡1234番地1
TEL 0265-3213206

【芸能の種類・指定】 湯立て神楽〈国指定重要無形民俗文化財〉

見どころ 面形の無い湯立神楽で、扇・ヤチゴ・剣などを手に、「花のようとのめの舞」、「四ツ舞」、「三ツ舞」、「古伝の舞」、「火伏せ」などの湯ばやしの舞が舞われます。



べなかぐらほぞんかい 部奈神楽保存会 (松川町)

定期公演日 ♦ 4月第1日曜日、10月2日、3日
定期公演の場所 ♦ 部奈前田諏訪神社
代表者 部奈神楽保存会

【芸能の種類】 獅子舞

芸能の由来 江戸時代末期に伊勢の御師から習得し、頭は手製で始めました。のちにその後雌獅子の頭を譲り受けました。

おおしかかぐらし 大鹿神楽獅子 (阿智村)

連絡先 ☎ 395-0302
阿智村伍和1980-117
TEL 0265-45-1405
代表者 布施英昭(ふせひであき)
定期公演日 ♦ 4月4日(現在は休止中)
定期公演の場所 ♦ 大鹿水無神社

【芸能の種類】 獅子舞

山本南平獅子舞より伝授され現在に至ります。

えじまぶし 絵島節 (飯田市)

定期公演日 ♦ 現在は休止中

【芸能の種類】 唄、踊り

江戸時代七代将軍家継の頃、高遠藩にお預けになつた奥女中絵島を偲ぶ唄。はじめ高遠(伊那市)で唄わられていましたが、秋葉街道を往来する馬子達によって上村へ伝わつたとされています。



きたがたししまい 北方獅子舞 (飯田市)

定期公演日 ♦ 4月第1土曜日、日曜日
定期公演の場所 ♦ 育良神社

代表者 育良神社



こやすじんじゃしまいほぞんかい 子安神社獅子舞保存会 (高森町)

定期公演日 ♦ 4月第1または第2土曜日、日曜日
定期公演の場所 ♦ 子安神社(高森町山吹)
代表者 子安神社獅子舞保存会

【芸能の種類】 獅子舞

芸能の由来 子安神社獅子舞は、明治10年(1877)頃に大島山瑠璃寺から習い現在に至っています。



あぶちんじんじゃしまい 安布知神社獅子舞 (阿智村)

定期公演日 ♦ 4月第2日曜日
定期公演の場所 ♦ 安布地神社
代表者 安布知神社獅子舞

【芸能の種類】 獅子舞

芸能の由来 山本南平獅子舞より伝授され現在に至ります。古獅子があり雨乞いにも使用されていました。

えじまぶし 絵島節 (飯田市)

定期公演日 ♦ 現在は休止中

【芸能の種類】 唄、踊り

江戸時代七代将軍家継の頃、高遠藩にお預けになつた奥女中絵島を偲ぶ唄。はじめ高遠(伊那市)で唄わっていましたが、秋葉街道を往来する馬子達によって上村へ伝わつたとされています。

とおやましもつきまつりほぞんかい 遠山霜月祭保存会

(木沢、小道木・川合区自治会、中立・八日市場区自治会、和田、八重河内)



定期公演日◆ 木沢 12月第1土曜日
和田 12月13日
八重河内 12月15日

定期公演の場所◆ 中立・八日市場 熊野神社正一位稻荷神社、日月神社(隔年交替)
木沢 小道木・川合区自治会
和田 和田諏訪神社
八重河内 尾野島正八幡宮

連絡先 〒399-11201
天龍村平岡1234番地1
TEL 0260-3213206
代表者 天龍村教育委員会

かみむらとおやましもつきまつりほぞんかい 上村遠山霜月祭保存会

(上町支部、下栗支部、中郷支部、程野支部)



練習場所◆ 上町 12月11日(10日は宵祭り)
下栗 12月13日(12日は宵祭り)
中郷 12月第1土曜日(前日は宵祭り)
程野 12月14日(13日は宵祭り)

定期公演の場所◆ 上町 正八幡宮
下栗 拾五社大明神
中郷 中郷正八幡宮
程野 程野正八幡宮

連絡先 〒399-11403
飯田市上村754-2番地 上村公民館
TEL 0260-3612211
上村遠山霜月祭保存会事務局

定期公演日◆ 木沢 12月第2土曜日
和田 12月第1土曜日
八重河内 12月13日

定期公演の場所◆ 中立・八日市場 熊野神社正一位稻荷神社、日月神社(隔年交替)
木沢 小道木・川合区自治会
和田 和田諏訪神社
八重河内 尾野島正八幡宮

【保存会の雰囲気や練習の内容】

● 上村遠山霜月祭保存会

担い手育成を目指して、毎年、地元小中学生に本祭で舞を発表してもうらうなど練習と実践の機会を確保しています。

霜月祭りの伝統と歴史を絶やさぬように練習から真剣に取り組むことで、地域のつながりを深めています。

【見どころ】 行列の先頭は、子供たちによる「旗持ち」、2番目は「氏子青年」による勇壮な「掛け太鼓」、3番目は「神楽団」による雌雄一対の獅子、4番目は壯年団による「宿入れ」、5番目は宮司、総代らの列でご神体を運ぶ「御みこし」、最後を飾るのが、吉野傘を持つ「温故団」の祇園囃子です。

【芸能の由来】 起源は今から約400年前の天正元年(1573)と言われています。山の上の神社に祀られている御神体を、年に一度里におろし行列を組んで五穀豊穣、家内安全、無病息災を願って練り歩きます。

【芸能の種類】 掛け太鼓・祇園囃子・獅子舞ほか

みつしまじんじゃしんこうさい 満島神社神幸祭

(天龍村)

定期公演日◆ 10月第2土曜日、日曜日
定期公演の場所◆ 満島神社から南の森(前宮)の間
連絡先 〒399-11201
天龍村平岡1234番地1
TEL 0260-3213206
代表者 天龍村教育委員会

あさひばやしほぞんかい 旭囃子保存会 (飯田市)



代表者 旭囃子保存会

【芸能の種類・指定】 お囃子

かみみそはやしやたいほぞんかい 上溝囃屋台保存会 (飯田市)

代表者 上溝囃屋台保存会

【芸能の種類・指定】 お囃子

むかがたのかけおどり 向方のかけ踊り (天龍村)

定期公演日◆ 8月14日(現在は休止中)
定期公演の場所◆ 長松寺
連絡先 〒399-11201
天龍村平岡1234番地1
TEL 0260-3213206
代表者 天龍村教育委員会

【芸能の種類・指定】 雨乞いの踊り〈国指定重要無形民俗文化財〉

【芸能の由来】 掛け踊りは踊り芸能の古い形態のもので、室町時代から江戸時代初期に流行したといわれています。向方のかけ踊りは先祖の靈を供養する形を伝えています。

【芸能の種類・指定】 湯立て神樂、神面の舞等〈国指定重要無形民俗文化財〉

【見どころ】 神仏混淆による両部神道のまつり。氏子が鳥帽子、水干、湯たすきを身につけ、かまど前に立ち湯立てを行います。

神名帳：全国の総社の神々の名を呼び八百万の神々を祭りに招待する儀式。申し上げ：招待した神々へ五穀豊穫はじめ、様々な願い事をします。

湯立て：各神々の湯立てがあり、それぞれの神は更に神を祀ります。

湯の花：宮本宅や宮神楽の立願が叶った家を湯で清めます。

神面：煮えたぎった湯を素手ではねとばす四面をはじめ次々と面が登場します。

装束舞い：櫻の舞、羽揃えの舞。

神面：煮えたぎった湯を素手ではねとばす舞：招いた神々をお送りします。

南信州 民俗芸能【公演日程】

※『南信州 民俗芸能誌【上巻】・【下巻】』で紹介された団体の公演日・本祭日のみを掲載

民俗芸能の名称	本祭の名称	公演日・本祭日	公演・本祭場所	住 所
結衆大地	元旦奉納	12月31日23時～1月1日午前1時	大島山留璃寺、日吉神社	下伊那郡高森町大島山812
木賊獅子	神坂神社例祭	1月1日午前0時	神坂神社	下伊那郡阿智村智里杉ノ木平3577
羽場獅子舞	元山白山神社元旦祭	元旦	元白山神社	飯田市羽場権現
久盛芸能	鳩ヶ嶺八幡宮神前奉納	元旦	鳩ヶ嶺八幡宮	飯田市八幡町1999
向方のお潔めまつり	向方のお潔めまつり	1月3日	天照大神社 舞堂	下伊那郡天龍村神原3884
坂部の冬祭り	坂部の冬祭り	1月4日～5日	大森山諏訪社	下伊那郡天龍村神原
大河内池大神社例祭	大河内池大神社祭典	1月5日～6日	大河内池大神社	下伊那郡天龍村神原5143
新野雪祭り	新野雪祭り	1月13日～15日	諏訪神社、伊豆神社	下伊那郡阿南町新野462
吉田区伝統芸能	吉田神社秋季祭典	3月第4土曜日、日曜日	吉田神社	下伊那郡高森町吉田1487
お練りの会	お練り祭り	春分の日	太田稻荷神社	下伊那郡壳木村
萩山郷土芸能保存会	春季例大祭	3月第4週土曜日、日曜日	萩山神社	下伊那郡高森町下市田988
大河内鹿追い行事	大河内池大神社祭典	旧暦3月3日	大河内池大神社	下伊那郡天龍村神原5143
加々須獅子舞保存会	加々須大宮諏訪社春季祭典	4月初旬の祭典日	加々須大宮諏訪社	下伊那郡喬木村
黒田人形	下黒田諏訪神社春季禮祭	4月第1土曜日、日曜日	下黒田諏訪神社境内	飯田市上郷黒田2344
上殿岡獅子舞	春季祭典	4月第1土曜日、日曜日	上殿岡神明神社	飯田市上殿岡
大洲七福神社奏楽保存会	春季例祭	4月第1土曜日、日曜日	大洲七福神社境内	下伊那郡松川町大字元大島1992-1
北方獅子舞	育良神社春季祭典	4月第1土曜日、日曜日	育良神社、北方地区	飯田市北方131
子安神社獅子舞保存会	子安神社春季祭典	4月第1または第2土曜日、日曜日	子安神社、山吹地区	下伊那郡高森町山吹3668
部奈神楽保存会	部奈前田諏訪神社春季祭典	4月第1日曜日	部奈前田諏訪神社	下伊那郡松川町生田2932
木賊獅子	神坂神社春季例祭	4月10日	神坂神社、智里地区	下伊那郡阿智村智里杉ノ木平3577
山田河内お囃子	山田河内春季例祭	4月10日	山田河内神社	下伊那郡下條村
山本南平獅子舞	七久里神社春季例祭	4月15日	七久里神社	飯田市山本3037
七久里神社御柱祭木遣り保存会	七久里神社春季例祭	4月15日	七久里神社	飯田市山本3037
大島山留璃寺獅子舞保存会	留璃寺、日吉神社春の祭典	4月第2土曜日、日曜日	留璃寺境内	下伊那郡高森町大島山812
羽場獅子舞	祈年祭本祭り	4月第2土曜日、日曜日	飯田市羽場地区	
寺所獅子舞	八幡宮祭り	4月第2土曜(隔年開催)	飯田市松尾寺所地区	
中平獅子舞保存会	矢高諏訪神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	矢高諏訪神社、中平地区	飯田市鼎下山1370
茶屋町太鼓鼎	矢高諏訪神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	矢高諏訪神社	飯田市鼎下山1370
切石獅子舞	切石天伯神社春祭り	4月第2土曜日、日曜日	天伯八幡神社、切石地区	飯田市鼎切石
上茶屋獅子舞	矢高諏訪神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	矢高諏訪神社、上茶屋地区	飯田市鼎下山1370
上山獅子舞	矢高諏訪神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	矢高諏訪神社、上山地区	飯田市鼎下山1370
一色獅子舞	一色諏訪神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	一色諏訪神社、一色地区	飯田市鼎一色
名古熊獅子舞	名古熊神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	名古熊八幡神社	飯田市鼎名古熊
下山獅子舞	矢高諏訪神社春季祭典	4月第2土曜日、日曜日	矢高諏訪神社、上山地区	飯田市鼎下山1370
安布知神社獅子舞	安布地神社春季祭典	4月第2日曜日	安布地神社、駒場地区	下伊那郡阿智村駒場2079
下殿岡獅子舞	春季祭典	4月第3土曜日、日曜日	飯田市下殿岡地区	

民俗芸能の名称	本祭の名称	公演日・本祭日	公演・本祭場所	住 所
入登山神社浦安の舞保存会	春季例祭	4月第3日曜日	入登山神社拝殿	下伊那郡下條村陽阜3898
天龍峡龍神の舞保存会	天龍峡花祭り	4月第3日曜日	天龍峡お祭り広場	飯田市龍江7087-1
大鹿歌舞伎	春季公演	5月3日	大磧神社舞台	下伊那郡大鹿村大河原3402
久盛芸能	久井地区納涼祭	7月	飯田市松尾地区	
立石祇園祭典	立石祇園祭り	7月第3土曜日	津島神社	飯田市三穂立石
深見諏訪・津島神社祇園祭保存会	深見の祇園祭り	7月第4土曜日	深見諏訪・津島神社、深見池	下伊那郡阿南町東條
今田人形芝居	いいだ人形劇フェスタ	8月上旬	今田人形の館	飯田市龍江3453-2
黒田人形芝居	いいだ人形劇フェスタ	8月上旬	黒田人形伝承館	飯田市上郷黒田2344-2
和合念仏踊保存会	和合念仏踊り	8月13日から16日午後8時から	林松寺	下伊那郡阿南町和合521
新野高原盆踊り	新野の盆踊り	8月14日～16日(21時～翌朝7時)	阿南町新野東町～本町通り	下伊那郡阿南町新野
下栗かけ踊り保存会	かけ踊り	8月15日(13時～16時)	下栗拾五社大明神	飯田市上村
早稻田人形芝居	早稻田人形芝居	8月第4日曜(14時から)	早稻田神社	下伊那郡阿南町西條
七久里神社裸祭り	七久里神社秋季祭典	9月第4土曜日	七久里神社	飯田市山本3037
部奈神楽保存会	部奈前田諏訪神社秋季祭典	10月2日、3日	部奈前田諏訪神社	下伊那郡松川町生田2932
木賊獅子	神坂神社秋季例祭	10月第1土曜	神坂神社、智里地区	下伊那郡阿智村智里杉ノ木平3577
大洲七福神社奏楽保存会	秋季例祭	10月第1土曜日、日曜日	大洲七福神社境内	下伊那郡松川町大字元大島1992-1
満島神社神幸祭	満島神社神幸祭	10月第2土曜日、日曜日	満島神社から南の森(前宮)の間	下伊那郡天龍村平岡
今田人形芝居	大宮八幡宮秋季祭典	10月第3土曜日、日曜日	大宮八幡宮	飯田市龍江
大鹿歌舞伎	秋季公演	10月第3日曜日	市場神社舞台	下伊那郡大鹿村鹿塙436
入登山神社浦安の舞保存会	秋季例祭	10月第3日曜日	入登山神社拝殿	下伊那郡下條村陽阜3898
中関義士踊り	阿智祭り	11月上旬	阿智村中央公民館ホール	下伊那郡阿智村駒場468-1
伊那人形芝居	伊那人形芝居	11月上・中旬	黒田人形伝承館	飯田市上郷黒田2344-2
下條歌舞伎保存会	定期公演	11月23日	下條村コスモホール	下伊那郡下條村睦沢8413-1
遠山霜月祭保存会	霜月祭(南信濃木沢)	12月第2土曜日	木沢正八幡神社	飯田市南信濃木沢
上村遠山霜月祭保存会	霜月祭(上村中郷)	12月第1土曜日	中郷正八幡宮	飯田市上村
遠山霜月祭保存会	霜月祭(南信濃小道木・川合)	12月第1土曜日	小道木熊野神社	飯田市南信濃木沢
遠山霜月祭保存会	霜月祭(南信濃中立・八日市場)	12月1日(隔年)	正一位稻荷神社 日月神社(隔年交替)	飯田市南信濃木沢
上村遠山霜月祭保存会	霜月祭(上村上町)	12月11日	上町正八幡宮	飯田市上村754
上村遠山霜月祭保存会	霜月祭(上村下栗)	12月13日	下栗拾五社大明神	飯田市上村
遠山霜月祭保存会	霜月祭(南信濃和田)	12月13日	和田諏訪神社	飯田市南信濃和田
上村遠山霜月祭保存会	霜月祭(上村程野)	12月14日	程野正八幡宮	飯田市上村
遠山霜月祭保存会	霜月祭(南信濃八重河内)	12月15日	尾野島正八幡社	飯田市南信濃和田
松流囃子	公演	不定期	弁天巣島神社	飯田市松尾新井7189
東野大獅子保存会	お練り祭り	申寅年3月末	飯田市市街地、東野地区	
上村中郷獅子舞	上村程野御柱祭	申寅年の4月30日	飯田市上村程野地区	
大鹿神楽獅子	大鹿水無神社春季祭典	4月4日(現在は休止中)	大鹿水無神社、大鹿地区	下伊那郡阿智村
日吉のお鉄祭り保存会	日吉のお鉄祭り	4月29日(現在は休止中)	伊勢社	下伊那郡阿南町和合2760
向方のかけ踊り	向方のかけ踊り	8月14日(現在は休止中)		
絵島節	絵島節	現在は休止中		